

安全データシート (SDS)

作成日 2016年6月29日

1. 化学品 (製品) 及び会社情報

製品名 : AL-50 空調用アルミテープ
 会社名 : 株式会社ジャパンアイビック
 会社住所 : 〒262-0045 千葉県花見川区作新台5丁目4番1号
 担当部門 : 開発営業部
 電話番号 : 043-259-9461
 FAX 番号 : 043-259-9571
 緊急連絡先 : 043-259-9461
 推奨用途 : 空調用・一般工業用アルミ箔テープ
 整理番号 : 0022

2. 危険有害性の要約

GHS 分類 : 本製品は成形品であり GHS 分類基準に該当しない。

GHS 分類 (接着剤の混合物としての分類)

物理化学的危険性 :

火薬類	分類できない
可燃性・引火性ガス	分類できない
可燃性・酸化性ガス	分類できない
高压ガス	分類できない
引火性液体	分類できない
可燃性固体	分類できない
自己反応性化学品	分類できない
自然発火性液体	分類できない
自然発火性固体	分類できない
自己発熱性化学品	分類できない
水反応可燃性化学品	分類できない
酸化性液体	分類できない
酸化性固体	分類できない
有機過酸化物	分類できない
金属腐食性物質	分類できない

健康に対する有害性 :

急性毒性 (経口)	分類できない
急性毒性 (経皮)	分類できない
急性毒性 (吸入 : ガス)	分類対象外
急性毒性 (吸入 : 蒸気)	分類対象外
急性毒性 (吸入 : 粉塵、ミスト)	分類できない
皮膚腐食性・刺激性	分類できない
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	分類できない
呼吸器感作性	分類できない
皮膚感作性	分類できない
生殖細胞変異原性	分類できない
発がん性	分類できない
生殖毒性	分類できない
特定標的臓器・全身毒性 (単回ばく露)	分類できない

特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露） 分類できない
 吸引性呼吸器有害性 分類できない

環境に対する有害性：水生環境急性有害性 分類できない
 水生環境慢性有害性 分類できない

絵表示又はシンボル：なし。

注意喚起語：なし。

危険有害性情報：テープ使用の際は剥がした剥離紙やテープの端部で手を切る可能性があるため、取扱いに注意する。

注意書き【安全対策】
 ・すべての安全注意を読み、理解するまで取り扱わないこと。
 ・この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
 ・取扱い後はよく手を洗う事。

【救急処置】
 ・吸入した場合：空気の新鮮な場所に移動し、呼吸し易い姿勢で休息させること。又、気分が悪いときは、医師の診断、手当てを受ける事。
 ・飲み込んだ場合：口をすすぐこと。又、気分が悪いときは、医師の診断、手当てを受ける事。

3.組成及び成分情報

単一化学物質・混合物の区別：混合物

一般名：アルミ箔粘着テープ

化学特性（化学式等）：該当しない

成分

成分名	含有量 (wt.%)	CAS No.	安衛法
アルミニウム箔	51～61	7429-90-5	非該当
アクリル系粘着剤	9～19	非開示	非該当
剥離紙	25～35	非開示	非該当

4.応急処置

皮膚に付着した場合：ゆっくりと剥がす。石鹼と水でよく洗う。気分が悪い場合は医師の手当てを受ける。

目に入った場合：眼球を傷つける可能性があるため、清浄な水で充分洗い流す。
 もし刺激があるならば、医師の手当てを受ける。

飲み込んだ場合：できるだけ吐き出し、異状を感じるようであれば医師の手当てを受ける。

5.火災時の措置

消火剤：注水、水噴霧、粉末消火剤、炭酸ガス、泡消火剤

特定の危険有害性：熱分解や不完全燃焼により、一酸化炭素、二酸化炭素等を含むガスが発生する可能性がある。

消火方法：風上より消火剤を使用して消火する。

消火を行う者の保護：状況に応じ防火服を着用する。又、一酸化炭素、二酸化炭素等に対しては適切な呼吸保護具を着用する。

6.漏出時の措置

人に対する注意事項：該当しない

環境に対する注意事項：該当しない

回収方法：くずをほうきなどで掃き集める。

7.取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策：・長期間かつ繰り返し粘着面を皮膚に触れないようにする。又、目に触れないようにする。

・火災にならないよう、炎、火花又は高温体との接触を避ける。

注意事項：該当しない。

安全取扱い注意事項：該当しない。

保管

技術的対策：火気注意。

保管条件：冷暗所での保管が望ましい。

容器包装材料：該当しない。

8.暴露防止及び保護措置

設備対策：取扱い場所の周辺に、目の洗浄及び身体洗浄のための設備を設ける。

管理濃度：該当しない。

許容濃度：該当しない。

保護具

呼吸器の保護具：通常必要としない。

手の保護具：通常必要としない。

目の保護具：通常必要としないが、必要とする場合は普通型眼鏡や保護眼鏡を着用する。

皮膚及び身体の保護具：通常必要としない。

9.物理的及び化学的性質

物理的状态：固体

形状：ロール状もしくはシート状

10.安定性及び反応性

安定性・反応性：一般的な貯蔵及び取扱いにおいては安定で反応性はない。

常温では危険な反応はしない。

危険有害な分解生成物（一酸化炭素、二酸化炭素、水を除く）

：現在までのところ有用なデータなし。

11.有害性情報

急性毒性：

- 急性毒性（経口）：データがないため分類できない。
急性毒性（経皮）：データがないため分類できない。
急性毒性（吸入：ガス）：分類できない、分類対象外が100%を占めるため、混合物では分類できないとした。
急性毒性（吸入：蒸気）：分類できない、分類対象外が100%を占めるため、混合物では分類できないとした。
急性毒性（吸入：粉塵、ミスト）：データがないため分類できない。
皮膚腐食性・刺激性：データがないため分類できない。
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性：データがないため分類できない。
呼吸器感作性：データがないため分類できない。
皮膚感作性：データがないため分類できない。
生殖細胞変異原性：データがないため分類できない。
発がん性：データがないため分類できない。
生殖毒性：データがないため分類できない。
特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）：データがないため分類できない。
特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）：データがないため分類できない。
吸引性呼吸有害性：データがないため分類できない。

12.環境影響情報

- 水生環境急性有害性：データがないため分類できない。
水生環境慢性有害性：データがないため分類できない。

13.廃棄上の注意

- 残余廃棄物：廃棄においては関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
都道府県知事などの許可を受けた産業廃棄物処理業者に委託して処理する。
廃棄物の処理を委託する場合、処理業者等に危険性、有害性を充分告知の上処理を委託する。

14.輸送上の注意

- 国際規制：該当しない
国連分類及び国連番号：該当しない
輸送上の注意：梱包が破れないように水濡れや乱暴な取り扱いを避ける。

15.適用法令

- 消防法：指定可燃物（3000 kg以上の場合）に該当
労働安全衛生法：該当しない。
P R T R 法：該当しない。
（PRTR法…特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律）

16.その他の情報

参考文献

- 1) 環境省生態毒性試験結果
- 2) 日本産業衛生学会－作業環境許容濃度・発ガン性評価
- 3) ACGIH－作業環境許容濃度・発ガン性評価
- 4) IARC
- 5) EPA
- 6) EU
- 7) NTP
- 8) 経済産業省による反復投与毒性・生殖発生毒性併合試験（OECP-TG422）
- 9) NITE 安全性試験
- 10) 内分泌かく乱作用に関する試験結果及び有害性評価書

災害事例：情報なし

記載内容の取扱い：

安全データシートは、危険有害な化学製品について、安全な取り扱いを確保するための参考情報として、取り扱う事業者に提供されるものです。取り扱う事業者は、これを参考として、自らの責任において、個々の取扱い等の実態に応じた適切な処置を講ずることが必要であることを理解した上で、活用されるようお願いいたします。従って、本データシートそのものは、安全の保証書ではありません。
